



はじめまして U-35委員会です

U-35委員会とは、日本建築協会における「若手設計者を中心とした協会活性化のための新たな活動プログラム」として、関西を中心に活動する設計組織・ゼネコンの35歳以下の若手設計者たちが集い、2013年4月に設立された組織です。

<活動の目的>

1. 業種・組織を超えた、同世代をつなげるプラットフォームの創出。
2. U-35世代の多角的な視野の獲得。
3. 建築における多様な価値の社会への発信。

<メンバー紹介> 一氏名一所属一ひとこと一

 **上野山 貴嗣**
(安井建築設計事務所)
「こんなやりたい」を届けたい。」

 **榎 恭志郎** (大建設計)
「設計者のサロンとなれば。」

 **駒井 陽次** (昭和設計)
「同世代の多様な感性が出会う場に。」

 **下田 康晴** (東畑建築事務所)
「U-35だからこそできる繋がりから新しい風を。」

 **白波瀬 智幸** (竹中工務店)
「がんばっていきましょう。」

 **中村 祐記** (大林組)
「U-35世代の飛躍の原点に。」

 **西森 史裕** (大林組)
「今までにない輪を一緒に作りましょう。」

 **松島 将太** (大建設計)
「シ・ゲ・キ・テ・キな出会いが起こる場に。」

 **横川 彩香** (東畑建築事務所)
「建築界に彩り、潤いと少しの笑いを。」

 **若江 直生** (日建設計)
「つながり、視野を広げるときかけとなれば。」

「建築と木材」企画概要

第1部：見学会

U-35委員会メンバーの白波瀬氏と、パネリストの興津氏の設計による、国内初の耐火木造オフィスビル「大阪木材仲買会館」において設計者の解説を交えて見学会を行いました。

第2部：パネルディスカッション+交流会

「建築と木材」をテーマに組織設計・ゼネコンのU-35世代の設計者3名をゲストに迎えて、手がけた建築作品についてプレゼンして頂くと共に、パネルディスカッションを行いました。

交流会の時間もあっという間でしたが、交流会後の懇親会も多数のご参加を頂きました。



飲み物片手にカジュアルな雰囲気です。



懇親会にて全員そろって記念撮影。

パネリスト/作品紹介-①
興津俊宏氏 (竹中工務店)
「大阪木材仲買会館」



大阪木材仲買協同組合が持つ会館の建替です。都市部において内外部ともに木を五感で感じられる建築を目指しました。

鉄とコンクリートのビルがあふれる街に既存の桜を囲むように生まれた木の温もりを持った耐火木造ビルは、技術革新やエコ・木の情報発信にとどまらず、ビルのワーカーだけでなく都市にも安らぎを与え、これからの都市と人と木の関わり方を示す手掛かりになると考えています。

パネリスト/作品紹介-②
久保久志氏 (東畑建築事務所)
「新城市立黄柳川小学校」



「どこか懐かしい木の学び舎」をコンセプトにした小規模な木造2階建ての校舎です。周辺の山並み・家並みに合わせた切妻屋根、深く張り出した軒、地域の杉材で設えた下見張りの外壁が地域の風景になじんでいます。木を現しにした内部空間は、森の中にいるようなぬくもりを与え、質素でない簡素なたたずまいに活き活きた子どもたちの活動を映します。使用した木材は杉・桧併せて約800㎡、新城市産材は内90%にものぼりました。

パネリスト/作品紹介-③
静茂夫氏 (大建設計)
「勝浦町立勝浦中学校」



外壁には、工場一体加工とした県産焼杉パネル工法とし、高い耐久性・安全性・施工性を確保。内装については、県産杉板型枠コンクリート打放し仕上とともに、勝浦川の水の流れをモチーフにした木板デザインを展開させ、木目の暖かさ・川のせせらぎ感を創出。デザイン壁・天井は吸音効果も期待できる。

さらに天井材の一部は、杉板型枠として利用した廃材を、洗浄・ケレン・再塗装を施し、内装材として再利用している。(再利用率約30%)



パネルディスカッション (抜粋)

コーディネーター：上野山貴嗣

■木材利用が向いているケースとは？

興津 木材会館の場合は、木材の利用が前提条件でした。木材業界の活性化のため、色々な使い方を提示しながら、社会的な意味を込めて利用しました。

久保 学校施設では小規模校も多くなっているので、ぜひ木造でやるべきだと思います。僕自身は木造が初めてで、知らないことが多く全てがチャレンジ。設計者がもっと木造のことを理解しなくてはと感じました。住宅設計をされている方は木造に詳しいと思いますが、中・大規模施設の設計者はほとんど知識がないのが現状だと感じます。しっかり勉強した上で、子どもが使う学校施設などは木肌を見せて暖かい空間を作ってあげたいと思います。

静 用途が学校だと内装制限がかからないので木材を使いやすい、施主が杉山を持っていたらそれを活用する、木材会館だったら業界の活性化のために、等、背景に左右されると思います。社会的背景に対して、先ほどの黄柳川小のようにRC造を求められたところに木造を提案したり、また我々設計者が勉強する等、色々なハードルをエネルギーに乗り越えていく熱い想いを持てるかというところにかかっている気もします。

久保 都市部では耐火要件などクリアすべきハードルが大きいので、無理し過ぎない程度に木材利用に取り組んでいくのも一つだと思います…べつに、耐火建築物の燃エンウッドが悪いとかそういう話では決してないです(笑) 学校の3階建の実大実験等もされていますが3階建の木造校舎が本当に必要かという議論もあると思うし、勝浦中のように、内装木質化

であんなに素晴らしい空間が出来るなら、そういう使い方もあると思います。ただ、構造体として木材を使うと、かなりのボリュームが使えるのは事実です。

■木材って高いの？

興津 耐火集成材はそれなりに高いですが、その中で、いかにコストを下げるかという努力ですね。仕口が複雑になるとコストが高くなるので、木材会館の場合は、L型に架構を組むことで、柱の仕口部分を減らしたり、床のRCとの剛性を配慮することで梁せいを抑えて部材断面を小さくする、等でコストを削減しています。仕上では不燃化すると手間・コストがかかるので、避難安全検証法を用いて内装制限を外し、極力不燃化せずに木材を使っています。また、今回は木材利用に対する国の補助金を活用しています。というわけで、ただ高いものを作ってるだけではなく、努力していますという言い訳です(笑)。

静 勝浦中でも補助金を利用し、木質の内装材とそれを支える下地材、木造としたクラブハウスは基礎や設備機器も含めて補助対象となり、木工事金額の1/2が補助されました。補助制度を使うのは一つのノウハウだと思います。勝浦中の建設時は国からの補助額が県全体で2~3億円でしたが、今年は7,000万円程度しか付いていません。年度ごとで額が変わるので、その情報を的確につかむことが重要だと思います。

久保 黄柳川小の場合は、製材だと地元材では全ての量がまかなえないことが分かったので森林組合等関係者と話し合っ、コストやスケジュールを含めて集成材を選びました。躯体も準耐火とすることでコストが約1.3倍になってしまふことが分かりました。木造校

舎部分の工事費の約4割が木構造工事だったので、それが1.3倍になると、影響は大きいです。

また、金物を一から設計するような構法をとるのか、メーカーの認定構法で設計するのかで、金物の値段が全く違うんです。

それを設計者が知らないケースが多い。RCとコスト比較した時にも、その辺の話が分かったので、費用対効果を含めた適切な判断が出来たと思います。

■グレーゾーンあるある。

興津 グレーゾーンではなくてちゃんと合法ですが、外装に木を使うことで少し考えました。外壁に木材を使うと耐火性能が必要となってしまいます。そこで、西・南面は全て耐火性能を求められない木製の建具で構成しました。ただ、延焼ラインにかかると防火設備が必要となりますので、西側のRCの袖壁を出すことで延焼の回り込みをとって一番北側の建具でも延焼ラインにかからないようにしました。そんなにグレーではないんですけどね、合法ですけど(笑)。

久保 グレーって難しいですね、合法ですけど(笑)。学校や福祉施設では、避難経路と居室を防火上主要な間仕切りで区画する規定(令114条区画)がありますが、今回は垂れ壁だと廊下のハイサイドライトからの光が教室に届かないので、天井材と梁材の隙間を小屋裏の防火上主要な間仕切り扱いにしてみたら、それ以下の部分は開口部扱いとして、不燃材のガラスならOKということで了解を得ました。

でもこれは他の行政だどう判断されるか分からない部分です。

上野山 十分グレーです(笑)。

1st action を終えて

現代社会における建築のあり方を考える時、我々が意識しないといけないテーマの一つに『木材』が挙げられます。今回、同世代で『木材』について気づき、考え、共有する機会として「建築と木材」を開催致しました。

パネリストの3名からは、“耐火木造への挑戦”“地域産材の活用”“木材の再利用”など、『木材』に対して異なるアプローチの刺

激的なお話を頂きました。参加頂いた方にも、単なる環境配慮に留まらない、『木材』の可能性を感じて頂けたのではないのでしょうか。

U-35委員会では、引き続き『木材』について継続的に考えを深めながら、新たなテーマにも取り組みたいと思います。【U-35 facebookページwww.facebook.com/U35.aaj】にて各種案内や活動等の情報を発信していきま

すので、そちらの方もご覧頂けたらと思います。2nd action 以降も、更なる同世代のプラットフォームを創出すべく、活動して参りますので、宜しくお願い致します。

最後になりましたが、ご参加頂きました皆様、パネリストの興津さん 久保さん 静さん、会館を利用して頂きました大阪木材仲買共同組合の皆様、有難うございました。